



3期 事業報告書

2025年3月1日～2026年2月28日

一般社団法人未来共創イノベーション

はじめに／私たちが抱えている社会背景

共創から未来を創る

私たちは「共創」の可能性を信じています。

他の誰かと対話し、気づきから行動に移す「共創と相互創発」により、予想しなかった未来が生まれる機会を数多く見てきたからです。

共創する楽しさ、予想しなかった未来（イノベーション）を起こせることを、若者とそれに関わる地域社会に伝えていきます。

社会背景と、必要なこと

チャレンジする機会や創造性を育む機会が、生まれ育った環境に左右されている



すべての子どもたちに、未来に向けてチャレンジする機会と創造性が必要

10代を育むことを、親と学校だけが背負う限界



親と学校に丸投げせず、10代を社会全体で育む環境づくりが必要

学習しない社会人（親世代の固定化した価値観で、無意識のうちに選択肢が固定化）



社会の大人が楽しく学び直しできる機会の提供が必要

2025年度の活動概要

3期は、限られた人員とリソースの中で事業を見直し、地域と学校に継続して関わる事業へ軸足を移した 1年でした。

① 地域コミュニティ支援◆継続

教育委員会や地域をハブに、教育×
地域づくりを両輪で進める

南小国・城崎・塩尻

② Well-being授業◆新規

和歌山県の中学校・小学校で、先生
が実施できる授業を試行

2校・13回

③ 学力の土台回復 PJ◆新規

日本版3rd grade Reading、
学力の土台回復事業

2026年度実施に向けて準備開始

④ デロイト トーマツ協働◆新規

「Well-being財団」助成金に採択

助成期間 1年間
(2025.12.15～2026.12.14)

⑤ 二枚目の名刺◆単発

NPO法人二枚目の名刺と協働し、プ
ロボノ支援者と調査・報告

7月～10月

⑥ ABD読書会◆継続

1冊の本を対話で読むon-line読書会

毎月開催

⑦ RISE上映会◆継続

ドキュメンタリー動画視聴後に対話

3月開催

① 地域コミュニティ支援 | 南小国町・城崎町

南小国町(熊本県)

2019年度より教育委員会アドバイザーとして継続。

- ・小5・6年生「仕事図鑑プログラム」3年目
- ・中1「農家民泊プログラム」6年目
- ・中2「まちインターンプログラム」7年目
- ・プレゼン大会 6年目

※年目は昨年の記録に1年を加えた暫定値

※2019年～現代表理事赤井が受託、2023年より弊社受託

城崎町(兵庫県)

城崎100年委員会(地域団体)と協働

※同委員会は、デロイトトーマツ助成金のプロジェクトを進める協働団体

- ・城崎ワークショップ(3日間)2回実施(次世代リーダープログラム(2024年より実施))
- ・参加者対象 小学5年生～中学3年生 ・参加者数8月⇒10名／12月⇒10名
- ・テーブルファシリテーター数 高校1年～25歳(各回7, 8名)
- ・内容: 高校生・大学生がテーブルファシリテーターとなって、小学生・中学生向けに自分軸を探すワークショップを実施→「地域全体で人材育成していく土壌作り」

・城崎町／テーブルファシリテーターの声

大人でも難しいと感じる哲学的な対話や未来についてのテーマに対して、自分より何歳も年下の小・中学生が真剣に向き合い、自分なりの答えを持って発言していることにとても驚き、感心した。また、何度も参加している子どもたちは回を重ねるごとに発表の仕方が落ち着き、緊張を感じさせない安定した発表ができるようになっており、確かな成長を感じた。自分が小・中学生の頃には到底できなかったことだと感じ、素直にすごいと思った。

① 地域コミュニティ支援 | 塩尻市

これまでの取り組み

2023年度

じゃらんリサーチセンターと共同で、塩尻市立塩尻西部中学校にて探究型教育&人材育成プログラムを実証。生徒が地元の産業・企業・まちの未来を探究し、学校・地元企業・商工会議所・行政が共創して進めた。

2024年度以降

当法人単独で塩尻市との関わりを継続。

2025年度

各学校でのキャリア教育プログラムのアドバイス
キャリア教育委員会等での研修実施

2023年度の成果(生徒 70名の振り返り調査)

塩尻への興味・関心(10段階)

3.1 → 6.5

出典:じゃらんリサーチセンター 地域産業を創出する探究型人材育成プログラム 振り返り調査(2023年)

② Well-being授業 | for School(新規)

内容・実績

和歌山県の2校で実施(2025年11月～2026年2月)

紀の川市立中学校:2年生4クラス・120名(7回)

白浜町の小学校:6年生・10名(6回)

※7回目は2026年3月に実施予定

・学校と直接協議し、完成したばかりのプログラム(2024年よりプログラム構築※1)を、事前、事後アンケートへの回答を条件に無償で試行。先生が授業で

きるコンテンツを整えて先生方にレクチャーし、授業は各校の先生が実施。1クール7回構成。

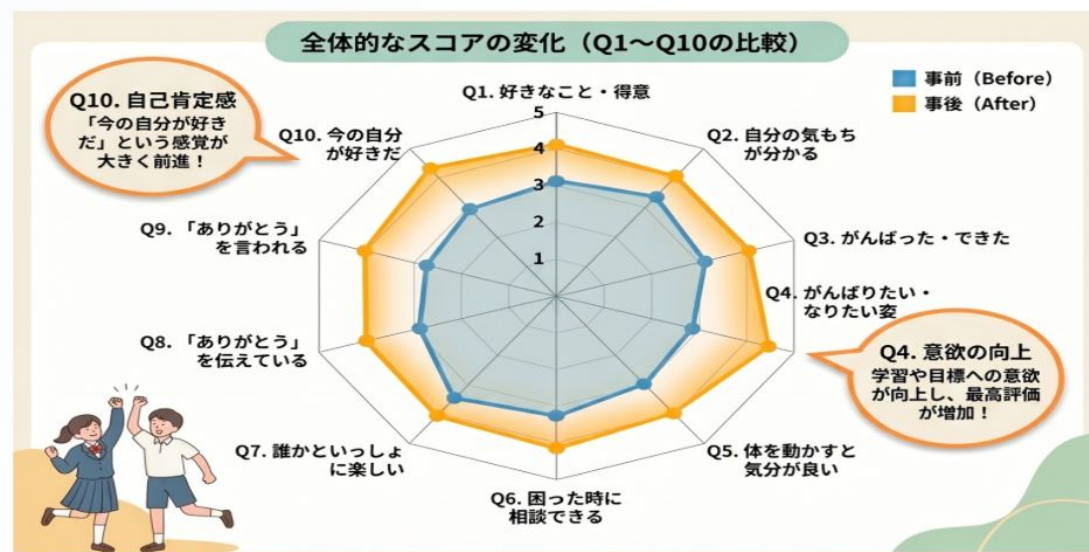
※1:英国発、子供向けWell-being授業を日本の文脈に合うように授業プログラムとして編集したもの

■ 学校、先生の声

- ・教育は単なる知識伝達ではなく、生徒の「心の安全基地」を作ることだと再認識した。
- ・今回の well-being を通して、自己理解につながるすごく良い機会でした。自分の内面を知る、相手への思いやりなど、感情に視点を向けて考える授業は今後の人生において、すごく勉強になった。

事前・事後アンケート結果(10項目)

要素別の幸福度認識の向上



多くの項目で事前より事後のスコアが向上。
特に「がんばりたい・なりたい姿」(意欲)と
「今の自分が好きだ」(自己肯定)が大きく向上。

【回答者数 120名(中学2年生)】

③ 学力の土台回復PJ

目的・内容

【目的】

小学中学年までに、学びの土台となる「読む力・計算する力」を身につけることは、つまずきを抱えたまま進級することを防ぎ、その後の学習だけでなく、社会参加につながる基礎学力のためにも必要である。

【内容】

小学3年生を対象に、事実文読解と基礎計算を4-5日間で集中学習。児童2-3人に大学生・高専生1人がチューターとして伴走し、一人ひとりのつまずきに沿って学び直しをサポート。

実績

【対象・実施期間】

2026年度冬以降、
熊本県内で実施予定

今後

複数エリアで対応するべく、現在、県の学力調査と全国学力調査の情報を集めながら、教員・教員経験者にも協力いただきプログラム資料を作成中。

④ デロイト トーマツ協働／⑤ 二枚目の名刺

デロイト トーマツ「Well-being財団」

助成金に採択(新規)

- ・ 助成期間: 2025年12月15日～2026年12月14日

【助成対象事業】

地方分散型社会実現のための人材育成コンソーシアム

- 100年先も持続可能で幸せな地域であるために、主体的・創造的な人材が育ち循環する仕組みを創る
- ・学校だけに依存しない“地域全体の学びの場”
- ・若者が地域社会とつながり、成長し、還元する生態系
- ・地域で「豊かに生きられる」未来の実現

2025年12月に助成金受託式に参加

現地ワークショップ開催日 12月19.20.21日

➤カメラマンによるインタビュー、動画撮影、編集

今年度作成の動画を使って、学びの蓄積(自エリアで運用できる仕組みのため)、他エリアへの横展開

NPO法人二枚目の名刺との協働

プロボノ支援者と実施(7月～10月)

二枚目の名刺のプログラムにエントリーし、当法人の活動をその場で紹介して、プロボノの支援者を募集。キックオフから報告会まで、4か月間、無償で協力してもらった。毎週2時間のミーティングで進行。

- ・ テーマ:「社会のためにそれぞれの10%を使っていく人たちを増やしたい！」
- ・ 議論と調査、メンバーの率直な思いのブログをnoteに掲載して集めた反応を集計し、報告書を完成

参加者の声

「社会活動はどうしてもこのテーマに関わりたいというよりは、継続的に自分自身が前向きに取り組めるものを探していく必要があると考えています。業務の繁閑や自己研鑽の取り組みとの兼ね合いもあるので、そのあたりともバランスを取ってやっていく必要はあると思いました」

⑥ ABD読書会 ／⑦RISE上映会／見直しを行った事業

ABD読書会(継続)

アクティブ・ブック・ダイアログ®方式で1冊の本を読む読書会を、毎月2時間、オンラインで開催。

- 年間の開催回数 12回(3～2月)
- 延べ参加者数 50名

RISE上映会(継続)

アメリカにある先端校、ワンストーンのラボ51高校を舞台としたドキュメンタリー作品、『Rise: Voice of a New Generation(立ち上がれ、新世代の声)』を上映・対話。

【目的】大人の在り方、関わり方が「サーバント」であると考えており、SL講座の入り口のスペースとして2ヶ月ごとに無料開催。ファシリテーターはフェローや教員の方など

- 年間の開催回数 1回(3月)1日2回開催
- 延べ参加者数 15名

※目的に合わせた実施方法を再検討中。

見直しを行った事業

- CareerStory: 平日開催に対応できる担当が代表理事2名のみのため、3期は実施せず、実施体制を検討中。
- Eduvision: 2期に単発で開催。運営の負担が大きく、毎年開催は見送り。
- サーバントリーダーシップ基礎講座: オンライン開催に向けて調整中。

年間活動スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
代表理事 meeting	毎週2時間(オンライン)											
理事 meeting	毎月1時間(オンライン)											
① 南小国町	通年で継続支援											
① 城崎町						WS3日間				WS3日間		
① 塩尻市	通年で継続支援											
② Well-being授業	隔週meeting(コンテンツ作成・オンライン)									授業(中学校7回・小学校6回)		
③ 学力の土台回復 PJ	毎週2時間(オンライン) 各自作業時間 1日3時間											
④ デロイト助成										受託式		
⑤ 二枚目の名刺					プロボノと協働(毎週 2時間)							
⑥ ABD読書会	毎月2時間(オンライン)											

※ デロイト トーマツ「Well-being財団」助成期間:2025年12月15日～2026年12月14日

次年度への展望 | 振り返りと 2026年度の予定

2025年度の振り返り

- 資金: デロイトトーマツ「Well-being財団」助成金に採択
- 人員・リソース: 事業を見直し、継続性の高い事業に集中
- 新規事業: Well-being授業、学力の土台回復PJを開始

残った課題

- 弊社リソース確保
- 各プロジェクトの人材育成プログラム制作
- フェローの増員、意識の向上、モチベーション維持
- 人材育成研修制度の完成
- 活動資金のさらなる確保
- サポートエリアの選定

2026年度の予定

- 冬以降: 学習支援プログラムを2エリアで開始予定
- 城崎ワークショップ: 夏・冬
- Well-being授業の展開
- 横展開のための仕組み作り
(動画含むコンテンツ制作)

私たちは、
価値観の違いや世代を超えて、
それぞれの良さを活かし、
自分の幸せを実感・探究し続けられる
未来を目指す

